

## 日本民間放送連盟賞(全国審査)山口放送が 3部門 優秀賞受賞 決まる

日本民間放送連盟賞の全国審査において、山口放送が制作したテレビ・ラジオ番組、放送活動が、3部門で優秀賞を受賞することが決まりました。

### 番組部門 ラジオ報道番組 優秀賞 「捕鯨の現在地」



今年5月、新たに製造された世界唯一の捕鯨母船「関鯨丸」が下関から出航した。IWC脱退後、再開された商業捕鯨を巡り、「関鯨丸」の出航により地元で高まる期待と課題を丁寧に描く。

【講評】日本における商業捕鯨を取り巻く状況を詳細に描いており、捕鯨にかかわる多様な人たちが一丸となって困難な課題に取り込む姿が伝わってくる。

### CM部門 ラジオCM第1種(20秒以内) 優秀賞 「竜崎温泉ちどり 企業CM/背負うものがデカすぎる篇」

女性 次、お待ちの大谷庄平さん。  
(ザワザワ...)  
患者の男性 えっ、大谷...?  
女性 本物...?  
男性 はい。  
(ああ...という声)

S E (パシャー:お湯を流す音)  
男性 背負うものがデカすぎるよ...。  
N A そんな気持ちも洗い流せます。  
竜崎温泉ちどり

病院で名前を呼ばれる、オオタニショウヘイさん。待合室の患者たちは、えっ、本物？とザワザワする。男性が「はい」と返事をする、周りからは落胆の声が漏れる。超有名野球選手と同姓同名の彼にはあるあるの展開のようで、「背負うものがデカすぎる」とうなだれる。ナレーションは、そんな時でも温泉に入れば辛い気持ちが洗い流せる、と竜崎温泉ちどりを紹介。

【講評】遊び心を加え、思わず笑ってしまう内容でありながら、しっかりと温泉という商品に着地させている点で高く評価できる。

### 特別表彰部門 放送と公共性 優秀賞 「部落差別と人権」に関する報道



古くから続く部落差別は今も消えず、インターネット上には部落を特定する動画や差別的な書き込みが溢れています。山口放送では2022年から夕方のニュース番組やドキュメンタリー特番などで「部落差別と人権」に関する報道を続けています。その手探りの放送活動を報告しました。

【講評】「知ることの大切さ」を積極的に主張して取り組む報道姿勢は顕彰に値する。メディアが触れたがらないテーマに、あえて会社としてチャレンジしたことに最大の敬意を表したい。今後もこの問題をその愚直な姿勢で追及して欲しい。社会的に価値があることだ。